

第1回検討委員会ワークショップ意見の振り返り 第5次プラン 計画体系案への反映

「ありのままの自分が居心地良いと思える環境」こそが豊岡の価値

第1回ワークショップ意見分析：3つの主要な論点

① 数値目標から 「Well-being」へ

単なる人口比率や定着率だけでなく、「自分らしく暮らせる」、「キャリアを諦めない」、「生き方を自由に選択できる」といった個人の納得感、満足度を軸としたまちづくりへの転換が必要ではないか...

② 多様性を 包摂する地域風土

「選ばれるまち」となるには、都市部で培った仕事などのスキルを十分発揮できる雇用環境、外国人材や障害のある人、多様なバックグラウンドを持つ人々を温かく受け入れることができる、包摂的な地域基盤の構築が必要ではないか...

③ 現場における ジェンダー主流化

男性の、地域あるいは家庭参画(孤立の防止、育児参画等)、女性の、ライフステージに応じたヘルスケアの推進、町内会・PTA・民間企業意思決定過程へ多様な視点の反映が必要ではないか...

【意見の反映①】生き方・キャリアの選択と多様な人材の包摂

第1回での主な委員意見（WSでの声）	新プラン（第5次体系案）への具体的な反映
<ul style="list-style-type: none">・若者や女性が自己実現、キャリア継続できる環境・都市部で得たスキルや価値観を発揮・リスクリングできる場・出産、子育てで働くことをあきらめない環境づくり	<p>➡【重点目標Ⅱ・柱②】 「豊岡キャリア&リスクリング・プラットフォーム（仮）」の構築と運用によるキャリア中断防止と学び直しのシームレスな一体支援。</p>
<ul style="list-style-type: none">・外国人材や障害者が自然に受け入れられる風土・町内会やPTA、各種審議会へ多様な視点を反映させる・若者の声をしっかりと吸い上げ、政策や地域に反映する	<p>➡【重点目標Ⅱ・柱①・柱③】 町内会・PTA執行役員等への女性ほか多様な主体の参画拡大と数値目標設定。多文化共生を含む一元化プラットフォームの構築。</p>

【意見の反映②】ジェンダー主流化の環境整備と家庭・地域参画

第1回での主な委員意見（WSでの声）	新プラン（第5次体系案）への具体的な反映
<ul style="list-style-type: none">・男性は地域とのつながりが薄く、孤立化しやすい・男性向けの家事・介護・料理教室への参加機会づくり・育児の分担を家族で話し合う機会の増加	<p>→【重点目標Ⅰ・柱③】 男性が参加しやすい父親向け事業（家事・料理教室等）の充実。高齢男性の地域的孤立防止とサードプレイス（第3の居場所）の創出。</p>
<ul style="list-style-type: none">・10代など若い時からからだの健康や知識について学ぶ環境・プレコンセプションケアなど気軽に相談できる場所・事業者がジェンダー解消を自社のメリットと感じる環境整備	<p>→【重点目標Ⅲ・柱③】および【重点目標Ⅱ・柱②】 プレコンセプションケア、生理、更年期に関する早期学習・相談窓口の充実。ワークイノベーション推進会議と連携した事業所向け支援。</p>

まとめ：第1回WSの声を反映した「アクションプラン3案」

1. 「豊岡キャリア & リスキング・プラットフォーム（仮）」の構築

Uターン者や移住者、出産・育児期女性のスキル中断を防ぎ、柔軟な働き方や学び直しを一体的に提供できる市独自のインフラを整備できないか——

2. プレコンセプションケアと包括的ヘルスケア教育の全域展開

10代の若年期から「性・生殖に関する健康と権利」についての理解を深めるため、学校・地域・職場で気負うことなく相談あるいは早期学習ができる窓口体制がつかれないか——

3. 地域・職場における「ジェンダー主流化」の推進

意思決定層への女性・若者参画比率の目標化に加え、市内の事業者が「働きやすく働きがいのある職場づくり」に取り組むこと、それが人材確保等の『自社のメリット』に繋がるとするインセンティブ設計ができないものか——

豊岡市第5次男女共同参画プラン（素案①）

「基本理念」と「計画体系」、「具体的施策案」

第5次プランでは、こどもの頃からの教育や偏見への気づきによる「人権尊重と多様な生き方の選択」、多様な主体の参画や職場環境の整備を通じた「個性と能力の発揮」、そして、暴力の根絶や多様性視点の防災による「安全・安心の確保」を3つの柱として一体的に推進し、誰もが自分らしく暮らせる社会の実現を目指します。

第5次プランの基本理念・重点目標と施策の柱（計画体系図）

【基本理念】

ちがいを認め合い、誰もが自分らしくかがやく豊岡

【重点目標Ⅰ】

一人ひとりの人権が尊重され、
多様な生き方を選択できる社会

■ 目指すところ

教育や偏見への気づきを通じ、多様な生き方
を選べる社会へ。

施策の柱（基本的施策）

1. こどもの頃からのジェンダー平等教育の推進
2. 固定的性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスへの気づきと多様な価値観への理解促進
3. 男女ともに多様で柔軟な生き方の実現とスキルの習得

【重点目標Ⅱ】

誰もが個性と能力を発揮し、
自分らしく働き暮らせる社会

■ 目指すところ

多様な主体の参画と環境整備により、自分ら
しく働き暮らせる社会へ。

施策の柱（基本的施策）

1. 政策・方針決定過程への多様な主体の参画拡大
2. 性別にかかわらず、働きやすく働きがいのある職場づくりの推進と、多様なキャリアの継続形成支援
3. 多様な主体が集い、お互いを認め合って、新たな価値を創出する地域づくり

【重点目標Ⅲ】

誰もが安全・安心に
暮らすことのできる社会

■ 目指すところ

暴力根絶、多様な支援と防災の徹底により、
安全・安心な社会へ。

施策の柱（基本的施策）

1. ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶
2. 困難な課題を抱える人への自立支援（男女共同参画視点からの支援）
3. 性の多様性への理解増進と性差に応じたヘルスケアの推進
4. 多様性視点からの地域防災と災害時対応の徹底

計画の体系

【重点目標Ⅰ】一人ひとりの人権が尊重され、多様な生き方を選択できる社会

■ 目指すところ： 教育や偏見への気づきを通じ、多様な生き方を選べる社会へ。

施策の柱（基本的施策）	具体的な施策の展開
こどもの頃からのジェンダー平等教育の推進	<ul style="list-style-type: none">・多様性・ジェンダー視点に立った保育・教育の推進（オリジナル絵本の活用等）・発達段階に応じた包括的性教育（人権、からだ、セクシュアリティの理解など）・演劇ワークショップを活用した表現力・他者理解力を育むプログラムの全域展開
固定的性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスへの気づきと多様な価値観への理解促進	<ul style="list-style-type: none">・学校・家庭・地域におけるジェンダー平等教育の推進・多様性（ダイバーシティ・エキティ&インクルージョン：DE&I）に関する理解の促進
男女ともに多様で柔軟な生き方の実現とスキルの習得	<ul style="list-style-type: none">・女性の経済的自立のための雇用・就業・起業等の支援・男性が参加しやすい家事・介護・料理教室など父親向け事業の充実・高齢男性の地域的孤立防止と、地域福祉の担い手・サードプレイス（家でも、職場や学校でもない、第3の居場所）の創出

計画の体系

【重点目標Ⅱ】誰もが個性と能力を発揮し、自分らしく働き暮らせる社会

■ 目指すところ： 多様な主体の参画と環境整備により、自分らしく働き暮らせる社会へ。

施策の柱（基本的施策）	具体的な施策の展開
政策・方針決定過程への多様な主体の参画拡大	<ul style="list-style-type: none">・町内会・自治会、各種審議会、PTA執行役員等への女性ほか多様な主体の参画拡大と数値目標設定・地域における旧来の慣習やしきたりの点検・見直し
性別にかかわらず、働きやすく働きがいのある職場づくりの推進と、多様なキャリアの継続形成支援	<ul style="list-style-type: none">・豊岡市ワークイノベーション推進会議と連携した事業所向け方策の促進・「あんしんカンパニー」表彰制度の充実 / 在宅・短時間勤務等の選択肢拡大とキャリア中断の防止・「豊岡キャリア&リスキリング・プラットフォーム（仮）」の構築と運用
多様な主体が集い、お互いを認め合って、新たな価値を創出する地域づくり	<ul style="list-style-type: none">・芸術文化観光専門職大学や豊岡演劇祭等を活用した、多様なちがいを寛容に受け入れる地域風土の醸成・就労・子育て・多文化共生等の情報を一元化する「情報共有プラットフォーム」の構築・AIデジタル、演劇、観光、農業、福祉等の成長分野におけるジェンダー主流化と多様な活躍モデルの創出

計画の体系

【重点目標Ⅲ】誰もが安全・安心に暮らすことのできる社会

■ 目指すところ： 暴力根絶、多様な支援と防災の徹底により、安全・安心な社会へ。

施策の柱（基本的施策）	具体的な施策の展開
ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶	<ul style="list-style-type: none">・DV、デートDV、職場・学校での各種ハラスメントの根絶に向けた啓発活動・DV等暴力被害者への相談・支援体制の堅持と相談員によるサポート
困難な課題を抱える人への自立支援（男女共同参画視点からの支援）	<ul style="list-style-type: none">・生活困窮者、ひとり親家庭、障害のある人々等への複合的で伴走型の自立支援・外国人住民への「やさしい日本語」普及、日本語学習・地域参画支援の充実と環境整備
性の多様性への理解増増進と性差に応じたヘルスケアの推進	<ul style="list-style-type: none">・「パートナーシップ宣誓制度」の適切な運用と近隣自治体との連携など環境づくり・プレコンセプションケア、生理、更年期など、性差医療等に関する早期学習・相談窓口の充実・特定施設での生理用品配布等「生理の公平」対策、外国人住民の文化的・宗教的背景等への配慮
多様性視点からの地域防災と災害時対応の徹底	<ul style="list-style-type: none">・災害時対応の企画運営段階における女性（地域防災リーダー等）の参画確保・乳幼児、妊産婦、高齢者、外国人、生理やプライバシー配慮が必要な避難者等に応じた防災計画・対応

第4次プランから、第5次プランへ。

-豊岡市男女共同参画プラン-

【構造の変化】「基本目標」から「重点目標」への再編

第4次プラン（基本目標）

1. だれもが互いを尊重し、自分らしい生き方を選択できる
2. だれもがあらゆる分野に参画し、支え合える
3. だれもが安全・安心に暮らすことができる

第5次プラン（重点目標） ★進化ポイント

- I. 一人ひとりの人権が尊重され、多様な生き方を選択できる社会
⇒ 「多様な主体」「アンコンシャス・バイアス」への気づきを包括
- II. 誰もが個性と能力を発揮し、自分らしく働き暮らせる社会
⇒ 方針決定過程への参画拡大、キャリア継続・多様な主体を意識
- III. 誰もが安全・安心に暮らすことのできる社会
⇒ 性の多様性、性差医療、多様性視点からの地域防災を徹底

【内容の進化】時代に即した新たなアプローチと豊岡の強み

◆ 教育の深化（重点目標Ⅰ）

- ・発達段階に応じた「包括的性教育」の推進（人権・多様性・セクシュアリティの理解）
- ・豊岡の強みを活かした「演劇ワークショップ」による他者理解教育プログラムの全域展開

◆ 働き方と地域の変革（重点目標Ⅱ）

- ・町内会、自治会、PTA執行役員等への女性・多様な主体の参画拡大と数値目標設定
- ・在宅勤務等の柔軟な就業形態拡大、豊岡キャリア&リスキリング・プラットフォームの構築

◆ 安全・安心の徹底（重点目標Ⅲ）

- ・「パートナーシップ宣誓制度」の適切な運用、生理の公平対策、性差医療に関する早期学習
- ・多様な当事者（乳幼児・妊産婦・外国人・避難施設を利用しない在宅避難者等）に配慮した防災計画

【まとめ】第5次プランが目指す豊岡の未来

■ ジェンダー主流化の実践

AIデジタル・芸術文化演劇・観光・農業などの成長分野で若者や女性の多様な活躍モデルを創出

■ 誰一人取り残さない「ダイバーシティ＆インクルージョン」の体現

外国人住民への多角的な配慮や生活困窮者・ひとり親家庭等への複合的な伴走型支援の強化

■ ちがいを寛容に受け入れる地域風土の醸成

芸術文化観光専門職大学や豊岡演劇祭等のリソースを活かし、新たな価値を創出する地域へ